

連絡先 自動車局審査・リコール課リコール監理室  
 TEL. 03-5253-8111 内線42354  
 アドレス :http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日 : 平成28年8月31日

リコール届出番号	3886	リコール開始日	平成28年8月31日		
届出者の氏名または名称	ヤンマー株式会社 代表取締役社長 山岡 健人 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>問合せ先 : 品質保証部</td> </tr> <tr> <td>TEL. 06-6376-6347</td> </tr> </table>			問合せ先 : 品質保証部	TEL. 06-6376-6347
問合せ先 : 品質保証部					
TEL. 06-6376-6347					
不具合品の部位(部品名)	排気管(排気管ステー)				
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① 排気管をエンジンに固定する排気管ステーの形状が不適切なため、エンジン高回転時に強度が不足していることがある。そのため、エンジンの振動で排気管が振れて、ステー取付部および、排気管ブラケット取付部が過大な応力を受けて損傷し、最悪の場合、排気管に亀裂が生じて排気ガスが漏れるおそれがある。 ② 排気管をエンジンに固定する排気管ステーの取付穴が排気管ブラケット取付穴と合わない状態で無理に組み付けたものがある。そのため、エンジンの振動で排気管が振れてステー取付部および、排気管ブラケット取付部が過大な応力を受けて損傷し、最悪の場合、排気管に亀裂が生じて排気ガスが漏れるおそれがある。				
改善措置の内容	全車両、排気管ステーを対策品に交換する。なお、排気管を確認し、損傷している場合は、良品に交換する。				
不具合件数	①9件 ②95件	事故の有無	無し		
発見の動機	①、②市場からの情報による。				
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者:ユーザーを把握しており直接電話等で通知する。 ・自動車分解整備事業者:ユーザーを把握しているため周知のための措置は取らない。 ・改善実施済車には、運転席後部に貼付されているシリアルナンバーラベルの横にNo. 3886のステッカーを貼付する。				

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤンマー	-	「YT490」	S0002-010002~010049 平成27年8月7日~平成27年10月6日	13	① キャビン仕様
			S0002-100101~110251 平成27年2月17日~平成28年5月12日	281	① キャビン仕様
		「YT5101」	S0002-400101~410113 平成27年4月22日~平成28年5月10日	52	① キャビン仕様
		「YT5113」	S0002-010001~010051 平成27年7月24日~平成27年10月14日	29	① キャビン仕様
	S0002-700101~710147 平成27年2月13日~平成28年5月12日		250	① キャビン仕様	
	-	-	S0003-900101~910066 平成27年9月17日~平成28年5月14日	73	① キャビン仕様
	-	「YT463」	S0001-100001~100367 平成27年8月19日~平成28年4月20日	198	② キャビン仕様
	-	「YT470」	S0001-400001~400399 平成27年8月10日~平成28年4月20日	246	② キャビン仕様
(計3型式)	(計5車種)	(制作期間の全体の範囲) 平成27年2月13日~平成28年5月14日	(計1142台)	①698台 ②444台	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。